

ポリスチレン 受払表

日本スチレン工業会

2008年(平成20年)6月

単位:t

	当月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	107,066	99	101
生産	62,174	93	93
出荷	内需	80,284	127
	輸出	3,497	94
	計	83,781	125
月末在庫	85,460	80	91

内需内訳	当月実績	前月比	前年 同月比
電機工業用	18,179	121	100
包装用	35,708	128	107
雑貨産業用	12,659	148	117
FS用	13,738	114	104
合計	80,284	127	106

2008年(平成20年)1-6月

単位:t

	当期実績	前期比	前年 同期比
繰越在庫	95,370	101	87
生産	424,660	95	96
出荷	内需	413,406	98
	輸出	21,165	86
	計	434,571	97
月末在庫	85,460	90	91

内需内訳	当期実績	前期比	前年 同期比
電機工業用	97,134	95	97
包装用	184,192	100	99
雑貨産業用	58,483	108	83
FS用	73,597	89	88
合計	413,406	98	94

スチレンモノマー 受払表

日本スチレン工業会

2008年(平成20年)6月

単位:t

	当月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	108,801	115	144
生産	255,845	93	86
出荷	内需	146,576	104
	輸出	125,638	99
	計	272,214	101
月末在庫	102,277	94	137

内需内訳	当月実績
GP・HI	57,407
EPS	15,675
AS	5,758
合成ゴム	15,956
不飽和 ポリエステル	2,696
ABS	23,297
その他	25,787
合計	146,576

2008年(平成20年)1-6月

単位:t

	当期実績	前期比	前年 同期比
繰越在庫	91,208	122	97
生産	1,537,102	86	88
出荷	内需	920,518	91
	輸出	641,053	82
	計	1,561,571	87
月末在庫	102,277	112	137

内需内訳	当期実績
GP・HI	411,368
EPS	80,639
AS	31,193
合成ゴム	96,535
不飽和 ポリエステル	15,804
ABS	149,035
その他	135,944
合計	920,518

2008年7月15日(火)

PS 及び SM の 2008 年 6 月度、1～6 月期の実績概況

PS 2008 年 6 月度

生産は、定修もあって低水準で前年同月比-7%となった。

国内出荷は 8 万トン台と高水準で前年同月比+6%となった。先行出荷が影響していると思われる。

用途別では電機・工業用が前年同月並みで、包装用が+7%である。電機・工業用ではデジタル家電向けが好調であったが、生活家電向けは減少した。包装用はHIシート向け、OPS 向け共に増えている。雑貨産業用と FS 用も増えており、特に雑貨産業用の増え方が大きい。

輸出は相変わらず堅調である。

出荷計は+6%である。

在庫は、前月末から約 2 万 2 千トンを減少して 8 万 5 千トンとなった。9 万トンを割り込むのは 2006 年 9 月以来である。

PS 2008 年 1～6 月期

生産は、昨年より定修が少ないものの出荷減を反映して前年同期比-4%となった。

国内出荷は 1～6 月期としては前年同期比-6%であった。電機・工業用が前年同期比-3%、包装用が-1%、雑貨産業用が-17%、FS用が-12%と雑貨産業用とFS用の落ち込みが大きい。

用途別の中身を見ると、電機ではデジタル家電が好調。包装用はHIシート向け、OPS 向けが堅調である。

輸出は前年同期比+11%と増えてはいるが伸び率は落ち着いてきた。

出荷計も 1～6 月期としては前年同期比-5%である。

在庫は 8 万 5 千トン台である。

SM 2008年6月度

生産は、定修や減産があり前年同月比-14%となった。

国内出荷は合成ゴム向けが好調であるものの、主用途のPS向けを始めとして他の用途は減っており、前年同月比-5%である。

輸出は今年に入って減っており、6月は5月並みの12万ト台である。

出荷計は国内出荷も輸出も減っており前年同月比-9%である。

在庫は減少して、10万2千トとなっている。

SM 2008年1~6月期

生産は今年には定修が多いことに加え減産もあって前年同期比-12%となっている。

国内出荷は1~6月期としては90年以降の最少である。合成ゴム向けが好調であるが、4-6月にPS、ABS向けが減少し、前年同期比-2%である。

輸出は定修が多いことに加え減産もあって1月以降減っており、前年同期比-24%と大幅減となっている。

出荷計は輸出のマイナスが大きく前年同期比-13%である。

以上